

発行所 日本看護連盟 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627 発行人 太鳥納子

No.403

2020年8月3日号



レポート: COVID-19 に対して、都道府県 看護連盟はどのように動いたか [4]

COVID-19 の最前線で懸命に患者の治療・支援に取り組む看護職たちをサポートするため、都道府県看護連盟は、行政や地方議員に働きかけてきました。 これまでの各県看護連盟の活動の記録をシリーズで紹介する最終回です。

(27) 会員にマスクを配布、クラウドファンディングへの協力 【埼玉県看護連盟】

- ・看護連盟からのメッセージを添えて、会員の所属施設及び個人会員、賛助会員に、 合計1万枚のマスクを送付した
- ・協力企業が「応援Tシャツを着て、医療従事者の方々を応援しよう」というクラウドファンディングを立ち上げ、その売り上げでガウンを埼玉県看護連盟にを寄贈するという企画。役員や青年部、OBにご協力を呼び掛け、埼玉県看護連盟に 240 枚、岐阜県看護連盟に 80 枚のガウンが寄贈された。

(28) 京都府知事・京都市長に要望書を提出 【京都府看護連盟】

4月28日 京都府知事に要望書を提出:「看護を考える会」会長の津田大三京都市会 議員と京都府看護連盟が提出。

要望内容 ①COVID-19 患者に対応した看護職への危険手当の支給 ②当該看護職が帰宅せずホテル等に宿泊した場合の宿泊費の補助 ③臨床現場の看護師の PCR 検査・抗体検査の実施 ④妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保

- 5月25日 京都市長に同様の要望書を提出:「看護を考える会」の津田会長(京都市会議員)、橋村京都市会議員、吉井京都市会議員と京都府看護連盟が提出
 - (29) 聞き取り調査を元に過酷な現場の実態改善等を自民党県連に要望 【千葉県看護連盟】
- 3月~ 県東部の中規模病院や訪問看護ステーションから現状聞き取り調査。

- 4月3日 近隣訪問看護ステーションにマスクを 100 枚ずつ配布した際、状況を聞き取り
- 4月7日~ SNS を利用して、自民党千葉県連新型コロナ対策本部メンバーの県議と 意見交換
- 4月20日 全会員施設に FAX 送信で「新型コロナ対応の困難状況」の届出依頼
- 4月22日~27日 感染予防具の不足している施設に対し、県健康福祉部に直接配布 状況の確認と発送依頼書を千葉県へ提出する事とした
- 4月27日 千葉県自民党看護問題対策議員連盟会長以下看議連議員40名宛に要望書 提出:危険手当等に加え、あまりにも厳しい病床の実態改善を「現場の声」を添え て要望

看護協会は千葉県健康福祉部部長に要望書提出

6月2日~8日 COVID-19患者受け入れ10施設の現状聞き取り実施

(30) 福井県護連盟 LINE@を活用して会員から要望を集め、県議会議員・ 国会議員に要望書を提出

【福井県看護連盟】

- 3月13日~「福井県看護連盟 LINE@」で潜在看護師への復帰を促し、ホームページからの登録が可能であることを呼びかける。看護協会のナースセンターを活用し、潜在看護師や、保健師の職場復帰で人材確保ができた。
- 3月16日 福井県看護連盟 LINE @で現場で一番支援を希望する事柄を書き込んでもらい、県会議員・国会議員に直接届けると呼びかける。寄せられた要望に応じて、協会から手指消毒薬を、連盟から予防着を施設に届けた。ナースのメンタルケアについては、メールで連盟職員が対応。その他の要望は県議会議員・国会議員に伝え、看護管理者への対応は協会長が対応した。
- 4月20日 看護協会長と看護連盟会長が、福井県知事・自由民主党福井県支部連合会会長・福井県看護議員連盟会長宛に要望書を提出:①医療者に特別手当(1日最高4000円) ②宿泊費用の補助
- 4月21日 連盟購入で役員・支部長にマスク配布
- 5月20日 看護議員連盟の紹介で建設業から、マスク予防着の寄付の申し出:看護協会会長と連盟会長でマスク1万枚、予防着200枚の贈呈を受ける
- 6月22日に稲田朋美衆議院議員、7月2日に滝波宏文参議院議員が連盟事務所を 訪問。現場の状況や看護師からの要望を伝えることができた。

(31) 現場のマスク、防護服などの不足状況を確認し、自民党府連や看護 を考える地方議員の会に要望

【大阪府看護連盟】

- ・メールや LINE 等で会員から現場の状況について常に情報が届くようにした
- 3月25日 大阪府へ、府内病院へのマスクの配布等を確認。翌26日、支部長を通してマスク、防護服の充足状況を確認。施設によってはかなり不足している所あり。
- 3月31日 大阪府連へ要望、「看護を考える地方議員の会」の議員等4名にメールや

このニュースレターは、職場で看護政策や政治について考える時の資料になるよう、日本看護連盟が施設連絡員や代表者、役員等に対し特別に配布するものです。ミニ研修会や会議の資料等として積極的にご活用ください。

直接状況を説明。のちにマスクの提供や防護具等の案内が来た

- 4月14日 衛生資材やフェイスシールドなどの業者の紹介等3社からあり、メール 等で支部長を通して案内
- 4月 現場からの声で、看護学校の休校や実習病院の受け入れができない等の問題が 寄せられ、卒業時の単位不足や国家試験の受験資格の問題について、たかがい恵 美子参議院議員に直接声を届けた。
- 5月13日 大阪日韓親善協会より提供されたマスク2,000枚を各支部へ配布
- 6月11日 「DAGASHI で笑顔にする会」から看護連盟と看護協会が駄菓子 50,000 個の寄贈を受け、駄菓子を各支部に配布。
- 7月8日 大阪選出の衆参議員4名との意見交換会の場で第2波に備えてPCR検査、 抗体検査等の拡充について要請した。
- 7月18日 自民党岸田政調会長と大阪選出の4名の国会議員と医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護連盟との意見交換会に、会長、副会長が出席した。
- 7月29日 堺市自由民主党、国会議員、府議会議員、市議会議員 10名との意見交換会に、会長他6名参加して現状報告と要望をお願いした。

(32) 知事、自民党県連への要望書提出、県内病院へサージカルマスク配布

【富山県看護連盟】

- 4月2日 支部長から「現場の声」収集を呼びかけ。マスク等の不足深刻。
- 4月16日 感染症指定医療機関(県内5か所)と看護協会との第1回 Z00M 会議傍聴。 連盟会員のいる新型コロナウイルス患者対応の実際、課題等を情報共有
- 4月17日 サージカルマスク10,000枚発注。20~22日県内の連盟会員のいる病院および個人会員に届ける。
- 4月23日 看護協会と連名で看護職に対する危険手当支給等の要望書を、県知事宛、 自由民主党富山県議会議員会会長宛に提出。4月28日の臨時県議会で、議員会会 長の質問に対して知事が全市町村での支給を目指すと回答(日額3,000~4,000円)。2月に遡及。
- 5月27日 5月25日に自民党県連女性部から贈られた千羽鶴(万羽鶴)を5箇所の 感染症指定医療機関へ持参。
- ※ホームページに、行事変更や連盟の取組等関連事項について掲載

(33) 県知事へ要望書の提出、会員へマスク等の配布 【石川県看護連盟】

- ・小藤看護協会長と野川看護連盟会長、連名で県知事に危険手当支給等の要望書を提出 出
- ・石川県議会定例会の関連委員会傍聴「新型コロナウイルス感染症の支援状況について」: 小藤看護協会長、寺尾看護連盟幹事、野川看護連盟会長
- ・寄付を受けた医療用マスク・フェイスシールド等の施設への配布
 - (1)4 月下旬(2500 枚):看護連盟入会の中規模病院30施設に配布
 - ②5 月初旬 (5000 枚): 感染者収容病院と石川県 10 支部と中小規模病院 74 施設へ

配布

- ・5 月上旬 500 万円の寄付を受け、以下のように活用した
 - ①石川県看護連盟入会員 5300 名の分マスク、マスクインナーを約 80 施設、個人会員、0B 支部会員 50 名配布
 - ②看護連盟学生会員等 180 名と新型コロナ感染収容ホテル勤務者にクオカードを届けた
 - ③新型コロナ感染治療施設へ衣類等を寄付

(34) 自民党都連に要望書提出、自民党都議会議員および都庁担当者と 面談・回答を得る

【東京都看護連盟】

- 3月下旬 地区理事・支部長に COVID-19 への対応に関する情報提供を依頼
- 4月1日 連盟入会施設の看護部長に電話での情報収集開始、3日に看護部長宛に情報提供依頼
- 4月9日 都議会自民党新型コロナウイルス感染症緊急対策チーム宛、現状と要望書 提出(第1報)
- 4 月 17 日 都議会自民党新型コロナウイルス感染症緊急対策チーム宛、現状と要望書提出(第2報): ①COVID-19 受け入れ施設へのマスク、防護服、消毒薬等の十分な支給 ②検査業者の導入 ③一般患者を受け入れる病床の確保 ④感染患者受け入れ施設への補償 ⑤提出書類の簡素化 ⑦看護職への危険手当、宿泊補償、休業補償等(危険手当、宿泊費の補助、マスクの支給など決定と回答を得る)、⑧COVID-19 に関わる看護職に定期的な PCR 検査
 - ①~⑦の項目に回答をいただいた。
- 5月18日 自民党都連幹事長、都議会自民党幹事長、政調会長、政調会長代理、総務会長都議会議員2名、事務局長、福祉保健局総務部長・統括総務課長・物資支給担当者と面談、回答を得る。同時に現状と要望書提出(第3報)
- 5月25日 協同組合青森県黒にんにく協会より提供された黒にんにくを29施設に配布
- 7月10日 「DAGASHIで世界を笑顔にする会」から駄菓子60,000個以上の寄贈を受け、都内の施設など70か所以上に配布

